



今年台風が発生が早いのか、また各地で台風の影響による暴風雨の被害が出ているようです。本園でも先週、火災の際の避難訓練を行いました。年少児は初めての経験でしたが、どのクラスもけたたましい非常ベルが鳴るとビックリしながらも静かに園長の放送を聞き、担任の指示に従って園庭へ避難することができました。年間を通して、火災や地震、水害、不審者侵入等、様々な非常時の対応訓練を行います。練習の時から本気でやっていると、もしも本当に大変なことが起こった時に逃げ遅れてしまうことを話しました。ご家庭でも、話題にしてみてください。

友達と触れ合うのが楽しい年少児

入園して2か月余り、園生活にも慣れ、自分の身の回りのことを手伝ってもらいながらも自分でしようと頑張っています。朝、登園すると必ず「〇ちゃん？」と聞く子がいます。「もう来てるよ」と言うと、さっとズックを履き替えて保育室へ一直線。好きな友達の名前を覚えて一緒にいたい気持ちが出てきたこの頃です。天気の良い日は砂遊びや色水遊びで気分を発散し、笑顔いっぱいです。ある朝、一人一鉢の前で担任と子ども達が少しずつ大きくなっている植物を見えています。私が近づくと「園長先生、ちっちゃいミニトマトがあるよ」と教えてくれました。最初は、卵ができると思っていた年少児、毎日眺めているうちに「なんだか違うぞ」と思ったのでしょうか。「えっ、卵ができるんじゃないの？」と聞くと、「違うよ、ねー」と友達と顔を見合わせて笑っていました。保育室では、カラー積み木の電車のまわりに、担任が段ボールで作った電車の車体ができっていました。運転手のハンドルもあります。それも二つ。友達と同じハンドルを持って「東京へ行きまーす」と楽しそう。また、折り紙で作ったアイスクリーム屋さんでは、手作りのトングがありました。可愛らしい手でトングで折り紙のアイスをつまむのは大変ですが、楽しい遊びのために一生懸命挟み、「いらっしゃいませー」とお店の人になり切っていますよ。遊びの中で、生活のいろいろなイメージがもてるようにしたり、いろいろな体の機能の発達を促すようにしたりと、担任はいつも頭をフル回転です。



「アイスどうぞ」



「東京へ出発進行！」

年中児が園外保育に出かけました

6月16日（金）に、年中児が上津のカエルランドに園外保育に出かけました。カエルランドは、上津のボランティアの方々が畑などの土地をピオトープとして整備されていて、いろいろな方が訪れておられるそうです。生き物大好きな年中児たちは何日も前からとても楽しみにしていました。当日、幼稚園バスに乗って上津へ行くと、ボランティアの方が待っていてくださいました。挨拶の後、ボランティアの方のお話を聞きました。「オタマジャクシやカエルなどいろいろな生き物がいます。一つでも名前を覚えて帰ってください」「生き物に触るときはやさしくそっと」「帰るときには、生き物は元の場所へ帰してください」という約束をして、早速カエルランドへ案内していただきました。草が生えている広い場には、小さい池や小川などが自然な形で整備されていて、子ども達は目を輝かせて生き物を探し出しました。「あっ、オタマジャクシがいた」「大きいカエルだ」大喜びで捕まえようとしてますが生き物も素早くてなかなかつかまりません。ボランティアの方がタモでとってくださったオタマジャクシやカエル、アカライモリなどを手で受け取ってその感触を楽しんだり、「このオタマジャクシはまだ小さいね」「本当におなかがいっぱい」など気付いたことを伝え合ったりしていました。その後、少し奥の沢まで行って小さなカエルを見つけました。石の下に隠れていることがわかると、みんなそっと石をとってのぞいたり、ボランティアさんに取ってもらったカエルを手にのせてもらっていました。カエルランドで生き物に触れて存分に遊び、捕まえたオタマジャクシやカエルは最初の約束通り元の場所に戻して、ボランティアさんやカエルランドとお別れをしました。自然の生態系をそのままに維持されているカエルランドで、のびのびと遊んだり、生き物に触れていろいろな気づきをしたり、学んだりして満足そうな顔の年中児でした。



「見て！大きなカエルがいたよ」



「オタマジャクシ、そーっと持ってね」



「オタマジャクシ、すばやいなあ・・・」

一人一人がめあてをもった遊びを楽しむ年長児

風の遊びからフリスビーの遊びへと、自分達で遊びを進めて楽しんでいる年長児、フリスビーやブーメランを、いろいろな素材を選び思い思いの形に切って飛ばしています。とにかくいろいろな大きさや形のものを作って飛ばしてみる子、同じフリスビーで飛ばした方を工夫する子、距離ではなく、ふわふわっと飛んだり高く飛んだりすることが面白い子・・・いろいろです。園庭で遊んでいましたが、『フリスビーやブーメランを飛ばす場を作って残したい』という思いから遊戯室で遊び始めました。ある日、様子を見に行ってみるとこれまで作ったフリスビーなどは大事に箱に入れながら、新しいものを作り始めていました。よく見ると、ストローに垂直に画用紙を貼って竹トンボのようにしたい子、割り箸や画用紙を組み合わせゴムもつけてみたい子、紙皿のまわりに切り目を入れて交互に折る子、それを段ボールでやろうとする子、画用紙に自分のイメージした形を全部書いて設計図のようにしそれを切って合わせていく子、友達の様子を見て取り入れようとする子・・・『飛ぶものを作る』というクラスでの大きなめあての中、取り組み方は一人一人本当に様々でした。また「今度は羽を長くしよう。だってね、短いのは飛ばなかったもん」と、自分なりに予想を立てたり、試行錯誤をしたりして、どの子の顔も真剣そのもの！自分の願いに向かって夢中で作り、「できた！」と言った時の笑顔ははじけるようでした。一人一人の良いところ、頑張っているところを褒め、「どうしてかな」「だってね・・・」に耳を傾け、ヒントを出し、共に喜んだり考えたりする担任の見守りや援助を支えに、素材も形も飛ばし方も自由な中で、友達と刺激を受け合いながらしっかりと自分の願いに向かって遊びを続けて楽しんでいる年長児です。



「どの紙を使うとよくとぶかな?」「フリスビーを飛ばす場所を作ろう」

玉ねぎの収穫をしました



今年は早い時期に気温が高い日が続いたせいか、玉ねぎの収穫が遅れていましたが、7日(水)に年長・年中児で玉ねぎの収穫をすることができました。マルチをとって頭が見えている玉ねぎを抜こうとしますが、これがなかなか抜けません。力いっぱい引っ張ったり、「がんばれー」と友達を応援したりしながら、たくさんの玉ねぎを収穫することができました。一人2個ずつおみやげに持ち帰り、後はカレーパーティの料理に使いたいと思います。

収穫後、山になった玉ねぎを見た年長児が「たくさんあるねー」「何個あるのかな」とつぶやき、年長児で数を数えることにしました。「どうやって数える?」と問かける担任に、「1個ずつ並べて、1、2、3・・・って数える」「両手に一個ずつ持って2個ずつ並べるといい」「いいね」ということで、みんな玉ねぎを2個ずつ持って一列に並べていきました。さあ、ここからどうするか。「1個ずつ数えよう」と数え始めましたが、「・・・45、46、47・・・、分からんようになった」と困ってしまいました。そこから良い案が浮かびません。「2個ずつかためたら?」「3個ずつは?」と、なんだか何個かのかたまりにしていくとわかりやすそうだ、というところまでは気付か始めています。でも、それと数を数えることが結びつかないようでした。自分の指を出しながら「4個はどうか」「5個はどうか」という声が聞こえたので、すかさず担任が「5個だとみんなの指の数と一緒にだね」と言ったので、「5個ずつにしよう」と5個の玉ねぎのかたまりを作り出しました。その後、5個と5個を合わせると10個になるということはすぐにわかったので、10個のかたまりを作って数えると、108個ありました。時間はかかりましたが、自分達で全部数えることができました。1個ずつ数える方法が確実ですが、数が多くて難しいとわかった時、かたまりにすると数えやすそうだ、ということが実感できたようでした。これから、いろいろな体験の中で、必要感をもちながら数や文字に親しんでいきたいと思います。



「ひらたっこきりんまつり」楽しかったわ

6月3日(土)に、今年度の「ひらたっこきりんまつり」を無事に楽しく開催することができました。今年度は土曜日に開催することで、保護者の方2名が参加してもらいやすいようにしました。おうちの方と一緒に登園した園児の顔はワクワク感でいっぱいでした。PTA役員・委員さんを中心に園と話し合いながら進め、準備してきたゲームの数々は、昨年度を基盤に飾りつけやフोटスポットなども加えられていて、おまつりの雰囲気アップしていました。たくさんのお土産を手作りの袋に大事そうに入れて、大満足の子も達でした。ご協力いただき、ありがとうございました。

